											申告の理由		種			別													
(原動機付自転車・小型特殊自動車)									廃 車	原動機付自転車			小型特殊自動車		動車														
令和 年 月 日 市町村長 殿 つぎのとおり申告及び標識の返納をします。										廃棄譲渡転出盗難・紛失その他()		第一種 一般原付(0.05L又 第一種 特定原付(0.6kWL 第二種 乙(0.09L又は0.8kV 第二種 甲(0.125L又は1.0k ミニカー			以下) W以下)	:))	標識番号	令	和	年	月	日					
															 左記所有者の住所又は所在地と同じ														
納税(申告)義務者	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	えは 在地								たる定	こる定置場																		
		Jガナ)											車		Ē	名		型式及び年式			F式		原動	機の型詞	代番号				
	¹ 첫	名 スは 称																				型 年式							
			大·昭·平·令 年 月 日 電話番号											車 台 番 号			号	型式認定			译号		総排気量又は定格出力						
	127												-													L kW			
	住	所 スは									長		j.	خ	幅				最	高 速	度								
	使所	在地	也																		am					km/h			
	用 (プ.	ガナ)											1	標識返納の有無		CIII	cm 標識返納がない場合		cm テの理由					KIII/II					
	女 氏	名しては	名								1.有		***	イ.盗難				ニ.その他()							
		称													的に:			ハ.破損	_	その他(7							
	生年	F月日												2	2.無									ل					
届出者	7	所 スは 本地														次	届	出年月	日	令和	年	月	Н	被害年月日		令和	年	月	日
	(フリ	在地リガナ)												届	届出警察署 受理番号		警察署				交番・			·駐在所					
	X	名は称															受												
	_	舌番号																											
																J													

第34号様式記載要領

- 1 この申告書は、原動機付自転車又は小型特殊自動車1台ごとに作成すること。
- 2 「申告の理由 | 及び「種別 | の各欄には、該当箇所の□ (チェック欄)にレを記入すること。
- 3 「廃車年月日」の欄には、納税義務が消滅した年月日を記入すること。
- 4 「納税(申告)義務者」の欄の「住所又は所在地」には、都道府県、市町村名、番地まで記入すること。 また、納税義務者等がビル等に入居している場合又は同居人である場合には、ビル等の名称のほかに棟号数、室番号又は○○様方のように、郵便物が確実に届くように記入すること。
- 5 「納税(申告)義務者 | の欄には、所有者と使用者が同じである場合は、所有者欄のみを記入すること。
- 6 「届出者」の欄には、申告に来た者が納税義務者以外の者である場合に記入すること。
- 7 「主たる定置場」の欄には、申告の際の主たる定置場が所有者の住所又は所在地と同じである場合については1を○で囲み、それ以外の場合については2の欄にその住所又は所在地を具体的に記入すること。
- 8 「長さ」、「幅」及び「最高速度」の欄は、特定原付の申告時のみ記入すること。
- 9 「標識返納の有無」の欄には、標識の返納が有る場合には1 を、また、標識の返納のない場合には2 を \bigcirc で囲むこと。なお、標識の返納のない場合については、その理由に該当する項目を \bigcirc で囲み、具体的な理由を[] 内に記入すること。
- 10 「盗難届出」の欄には、「申告の理由」又は「標識返納がない場合、その理由」欄において「盗難」に該当する場合に、その盗難を届出た年月日、被害年月日、届出警察署及び受理番号を記入すること。